

まちみらい ニュース News

Vol.61

編集 (財)まちみらい千代田

〒101-0054 千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア4階
TEL3233-7555(代) FAX3233-7557
http://www.chiyoda-days.jp



市民によるまちづくり活動を応援する

千代田まちづくりサポート



助成活動の募集を開始
～5月10日より窓口にて受け付け～

12回目を迎える「千代田まちづくりサポート(まちサポ)」。今年度は、5月10日(月)から助成活動の募集を開始します。「まちサポ」は、千代田区の

まちを元気にしたい、そんな思いを実現するためのまちづくり活動に対して助成するもので、助成金の全額が当財団の賛助会員の方々の会費によって賄われています。

申請については、応募の手引きをご覧ください。応募の手引きおよび申請書類はホームページ(<http://chiyoda-days.jp/future/event-info/machisapo22.htm>)または財団窓口で配布しています。

助成対象 千代田区を中心とした市民レベルのまちづくり活動。ただし、同一の企画内容で千代田区または区に關係する団体などから助成を受けている活動や、政治・宗教・営利を目的とする活動は助成対象になりません。

助成額
・トライアル部門 一律5万円
・一般部門 5～50万円
応募資格 3人以上のグループで、千代田のまちづくりに関する活動であれば、在住・在勤・在学・国籍を問わず、どなたでも応募できます。

申請受付 まちみらい千代田の窓口にて、内容を確認しながら申請書を受け付けます。電話予約のうえ、必ず窓口まで申請書をお持ちください(郵送・Eメール不可)。

受付期間 5月10日(月)～6月1日(火)(月～金曜日の8時30分～17時15分)

公開審査会 申請内容を公開の場で発表していただき、助成の可否および助成額について審査します。

とき 6月19日(土)9時～17時(予定)

会場 ちよだプラットフォームスクウェア5階会議室(神田錦町3-21)

活動報告会 助成対象となった

と参加団体の投票により「神田探偵団」が選ばれました。

「神田探偵団」の代表、立山光昭さん(写真右)は神田をこよなく愛し、まち歩き案内役をしています。

これまで案内してきた町の魅力を「江戸下町神田歩き」にまとめて出版したことなどが高く評価されました(江戸下町神田歩き)について詳しくは、

「サポート大賞」には、審査員

まちづくりの活性化に大きく貢献したグループに贈られる

「サポート大賞」には、審査員

活動成果発表会

サポート大賞に「神田探偵団」

と参加団体の投票により「神田探偵団」が選ばれました。

「神田探偵団」の代表、立山光昭さん(写真右)は神田をこよなく愛し、まち歩き案内役をしています。

これまで案内してきた町の魅力を「江戸下町神田歩き」にまとめて出版したことなどが高く評価されました(江戸下町神田歩き)について詳しくは、

「サポート大賞」には、審査員

まちづくりの活性化に大きく貢献したグループに贈られる

「サポート大賞」には、審査員



▶3月6日に行われた成果発表会

場合、11月(中間発表会)と3月(活動成果発表会)に活動内容を報告していただきます。

問合せ 産業まちづくりグループ
☎ 32333-7558
(直通)

URL <http://nishhei.com/09-05book.html>



▲左は審査会会長の鈴木伸治氏

四つの柱で「まちづくり」 平成22年度の事業計画を策定

まちみらい千代田にとって6回目の事業年度となる平成22年度は、「住宅まちづくり」「区民住宅の供給」「産業まちづくり」「普及啓発」を柱として、千代田区との協力の下、公益法人ならではの柔軟性と迅速性を生かした総合的なまちづくりを推進します。

●住宅まちづくり 「住宅まちづくり」では、魅力ある都心居住に向けて、快適で安全なマンション居住への支援と、良好な居住環境の整備を促進します。

●産業まちづくり 「産業まちづくり」では、地域の振興に向けて、中小企業の中堅優良企業への成長を支援するとともに、プラットフォームスタウェアを拠点とする地域産業の活性化に取り組みます。

●区民住宅の供給 「区民住宅の供給」では、住み続けられるまちに向けて、引き続き借上型区民住宅を管理運営し、区民等の皆様に提供します。

●普及啓発 「普及啓発」では、理解と協力のまちづくりに向けて、地域活性化の支援や、情報の発信と交流、調査研究等に取り組みます。

共同建築の促進、まちづくりアドバイザー派遣
「区民住宅の供給」では、住み続けられるまちに向けて、引き続き借上型区民住宅を管理運営し、区民等の皆様に提供します。

「普及啓発」では、理解と協力のまちづくりに向けて、地域活性化の支援や、情報の発信と交流、調査研究等に取り組みます。



▲新緑の毛無山

市町村サテライトオフィス東京 入居者紹介

Vol.3

岡山県新庄村

岡山県新庄村は、鳥取県との県境に位置し、大山、森山高原を背後に見据えた、人口1千37人の小さな村です。古くから出雲街道の宿場町として栄え、本陣・脇本陣を始めとする歴史的な建物が現存しています。また、毎年4月中旬には、日露戦争の戦勝記念に植えられた137本の「がいせん桜」が見ごろとなり、県内外より多くの観光客が集まります。

岡山県内最大のブナ林を有する毛無山は、山頂から大山・日本海を見下ろす360度の展望がすばらしい山として、登山客を魅了しています。

村の特産は、ヒメノモチ米で作る「ひめのもち」やおかき、さるなし(コクワ)のワインなど豊かな土壌が生み出す農産加工品です。

ここ数年は、千代田区の皆様

この数年は、千代田区の皆様

この数年は、千代田区の皆様

この数年は、千代田区の皆様



とのご縁が始まり、神田祭りの際に神田錦町の餅つきに駆けつけています。

新庄村は昨年「日本で最も美しい村」に認定され、景観や歴史を活かし、環境にも配慮した村づくりを進めています。ぜひ、1千人の村「新庄村」においでください。

マンション理事長連絡会(Q&A)

ご入会に際してよくある質問

昨年9月より入会申し込みをお受けしている「千代田区マンション理事長連絡会」。事務局のまちみらい千代田には、区内の分譲マンションの理事長の皆様よりたくさんのお問い合わせをいただいています。

今回はその一部をご紹介します。

Q なぜ理事長が登録するの？

A マンションは区分所有者皆様のもの。みなさんの意見を取りまとめるリーダーとして、理事長さんご登録をお願いしています。また、地域との関わりを考え、当該マンションにお住まいであることを条件としています。

Q 入会すると、面倒な役割もあるのでは？

A 役職等はありません。まちみらい千代田が事務局としての運営を行います。

Q どんなサポートがあるので

マンション無料相談会

毎月第3水曜に好評開催中

まちみらい千代田では、昨年度に引き続きマンションにお住まいの皆様とのマンション維持管理に関するさまざまな問題の解決に向け、マンション無料相談会を行っています。

首都圏マンション管理士会 都心区支部の協力により、毎回、2名のマンション管理士が会場でお待ちしています。

Q 理事長さん及び管理組合運営のサポートをします。個々の管理組合が抱えている課題に応じて、問題解決に向けたお手伝いをしていきます。

Q 理事会の承認を得るのが手間なのですが。

A 区分所有者みなさんの意見が反映されていることを重視していますので、ご理解・ご協力をお願いしています。

Q 地域と関わる必要はあるのですか？

A 管理組合と町会とは、コミュニケーションの方法は異なるかもしれませんが、大規模災害などの緊急時には、必ず両者の連携が必要となります。地域との関わりは、お互いに理解し合うための良い機会になると考えています。

Q 会費は必要ですか？

A 会費は必要ありません。また



た公的サービスの一環としてサポートするため、政治、宗教、営業活動は行いません。

Q 「まちみらい千代田」とは何ですか？

A 千代田区・東京電力・東京ガス・NTT東日本・みずほ銀行で設立した財団法人です。まちづくりに関する事業や産業の振興に向けた取り組みを行っています。

Q 理事長連絡会の趣旨にご賛同いただき、ぜひご入会いただきませ

ますようお願いいたします。問合せ 住宅まちづくりグループ

☎ 32333-3223 (直通)

※マンションでの日常生活や建物の維持管理等のご相談、マンションに関する各種助成制度の申請についての相談等は、まちみらい千代田で随時受け付けております。

相談時間 1回30分程度
場所 まちみらい千代田会議室(神田錦町3-21ちよだプラットフォームスクウェア4階)

予約・問合せ 住宅まちづくりグループ
☎ 32333-3223 (直通)

〈企業探訪〉第2回千代田ビジネス大賞・大賞受賞企業 株式会社ポボンデッタ 代表取締役 太田和伸 社長

このたび第2回千代田ビジネス大賞をみごと受賞された(株)ポボンデッタ。授賞式の熱気も冷めやらぬ3月18日(木)に太田和伸社長を訪問しました。

『鉄道模型は続くよ、どこまでも〜♪』



(株)ポボンデッタは、1999年に太田社長がインターネット通販で始めた中古の鉄道模型販売がスタートだそうです。

熱烈な鉄道模型マニアであった太田社長ですが、まだ勤め人であった太田社長にとっては新品の鉄道模型は結構高い。そこで中古品を探そうとしましたが、中古品を扱う店舗はあるのかなのか分からないぐらいのごく小さい規模で、少なくとも太田社長自身は中古品を買うことができなかったのです。それでは自分でやっしまおうということで、当時定着してきたインターネット通販での中古鉄道模型の販売をス

タートしました。

その後、実店舗である秋葉原店をオープン、現在は全国に10店舗を展開し、売上は8億円を突破、アルバイトを含めた社員は約100名だそうです。

二足のわらじ

太田社長は、太田和伸税理士事務所の所長でもあり、中小企業の経営に関与してきた経験が、現在のポボンデッタの経営にも役立っているそうです。

ポボンデッタの特徴は

①スタッフの選定

鉄道模型の店舗スタッフに求められる能力は大きく分けて二つ。鉄道模型の知識と接客マインドです。両方の能力が高

いに越したことはないのですが、初めからそのようなスタッフは少ない。鉄道模型の知識は少しばかり低くても、接客マインドのある人もスタッフとして採用し、鉄道模型の知識が高いスタッフとバランスよく配置するようにしたのだそうです。

②豊富な在庫

通常の鉄道模型小売店は1か月分程度の在庫だそうですが、ポボンデッタは4か月分です。全店の店長が他店の在庫を見られるようになっており、店舗間で融通がききます。豊富な在庫と多店舗間の在庫管理のPOSシステムが、ポボンデッタの大きな特徴なのです。

③他にはない店舗づくり

一番特徴的なのは、自分の鉄道模型を走らせることのできるレンタルレイアウトが全店舗にあること。太田社長は、「思う存分自分の模型を走らせることができ、家族や恋人をつれてきても楽しい場所」をつくらうという決意で、このレイアウトを作成しました。

④豊富な自社企画

初心者向けの鉄道模型教室の定期的開催やスターターキット、東京ビックサイトやJR駅ビルなどへの出張イベント、

「ポポ鉄クラブ」という名のファンの集い、さらに世界の鉄道を見に行こうという旅行企画など盛りだくさんです。どれも太田社長やスタッフの方の手作りの企画であり、ファンの方々の高い支持を得ているようです。

⑤ファミリー層への浸透

最も大きな特徴は、マニアのニーズも十分に満たしながら、ファミリー層へ鉄道模型を普及しようとしている点です。従来では考えられなかったファミリー層の多い場所に出店しているのです。「鉄道の持つ楽しさをより多くの人にお届けし、鉄道模型の力で人と人のコミュニケーションを活性化する」という太田社長の強い信念がその背景にあります。

環境的な視点から見直されている鉄道輸送。鉄道模型を家族・友人・恋人とのコミュニケーションの活性化に役立ててもらいたいという太田社長の理念が実現する日は近そうです。

※詳しいインタビュー内容は「千代田 day's」(<http://chiyoda-days.jp>)でご覧いただけます。

問合せ 産業まちづくりグループ ☎ 3233-7558 (直通)

広告

ポボンデッタ

はじめませんか？
鉄道模型

ポボンデッタは全国に14店舗+通販店で、あなたの鉄道模型ライフを全力でサポートします

秋葉原・大阪日本橋・川口・木曾川・横浜・土浦・蘇我・津田沼・大阪鶴見・京都・越谷

店舗情報・通信販売は →URL にアクセス！

<http://www.popondetta.jp/>